

**報道関係者各位**

特定非営利活動法人ノーベル (<http://nponobel.jp/>)  
大阪市中央区内本町2-4-12 中央内本町ビルディング701  
担当: 吉田 綾  
Tel : 06-6940-4130  
mail: pr-nobel@nponobel.jp



## 訪問型病児保育のNPOノーベル 大阪弁護士協同組合と提携

NPO法人ノーベル(大阪市中央区・代表高亜希)は、2014年11月、大阪弁護士協同組合と平成26年12月～平成27年11月までの1年間のアフィリエイト提携契約を締結いたしました。

**■ 提携サービス内容**

大阪弁護士協同組合員を対象に、入会金 15,000円 (税別) を15%割引

**■ アフィリエイト提携とは**

ノーベルの活動に共感してくださる法人・団体様と提携し、提携先を通じてご入会いただく場合、入会金の割引等の特典をご用意しています。また提携先団体は、従業員・会員等に対して、ノーベルからのお知らせ等を広報していただくこととなります。

**■ 働く子育て世帯が抱える最大の悩みは、子どもの急な発熱。**

病児保育とは、「子どもが熱を出して登園登校できない、けれど親も仕事を休めない」そんな時に、親御さんの代わりに保育スタッフがお子さまをお預かりすることです。37度5分以上の熱を出すと保育園では預かってくれません。しかし、病児を預かる病児保育施設は、安定経営が難しく、施設の8割が赤字というデータも存在します。保育園が増えている一方で、病児保育施設はなかなか増えず圧倒的に不足しています。

そこで、NPO法人ノーベルは2010年2月、**地域の子育てベテランママが小児科医と連携しながら保育をする、従来にはなかった新しいタイプの共済型・地域密着型病児保育**を事業化し、現在約460世帯をサポート。2014年4月には大阪市淀川区から委託も受け、少しずつ広がっています。

**■ 認知度の低い「病児保育」。社会全体で助け合って子育てする世の中を目指して。**

一方で、依然、病児保育を知らない人がほとんど。待機児童問題は叫ばれる中、病児の預け先が圧倒的に不足している「病児保育問題」に気付いているのは、働く母親当事者のみです。この病児保育問題を解決するためには、働く母親だけの努力ではどうにもなりません。家族、勤務先の同僚・上司、企業、行政、それぞれがこの問題を知り、行動に変化が連鎖を生み、世の中が変わる。その「知る」を後押しする手段として、今回のような「アフィリエイト契約」は今後も、多くの企業・団体様と積極的に結んでいく予定です。

**TOPIC****ノーベル説明会開催のお知らせ**

利用希望の方には説明会への参加をお願いしています。  
ノーベルホームページより、ご希望の日時を選択しお申し込み下さい。

説明会開催日: 2月7日(土)

